

# 越谷商工会議所と「越谷アルファーズ」が協定 スポーツを通じて地域の活性化を図る 産業会館で締結式を開催

スポーツ振興や地域活性化へ連携・協力して取り組む

越谷商工会議所(井橋吉一会頭)は9日、越谷市を拠点とするプロバスケットボールチームの「越谷アルファーズ」(B.LEAGUE B1 リーグ所属)と連携協力に関する協定書を締結。同日、越谷産業会館で「締結式」が行われ、同会議所の井橋会頭と越谷アルファーズの上原和人社長が出席して、両者が協定書にサインした。

同協定は、競技スポーツの充実とともに、バスケットボールというスポーツ活動を通じて、相互に連携・協力し越谷市の地域の一体感の醸成や活性化を図ることを目的に締結された。両者が目的を達成するために①スポーツの振興②地域活性化③地域産業・観光・文化の振興④情報発信⑤各種イベント、などに関することに取り組んでいく。

締結式で井橋会頭は「今回の協定締結を機に、お互い各種事業やイベントなどに一致団結協力し、越谷市とアルファーズがますます発展することを願うとともに、魅力あるまちづくりを推進してまいりたい」と話し、越谷アルファーズを通じた地域の盛り上がりを期待した。上原社長は「今回の協定締結を機に、より一層相互に連携・協力し、越谷市の地域の一体感の醸成、活性化を目指すことができればと、身の引き締まる思いです。市民の皆様に『このまちにアルファーズがあってよかった』、『アルファーズの存在が生活を豊かにしてくれた』と思っただけでいいことができるよう、スポーツ振興、地域活性化、地域産業・観光・文化の振興にもより一層積極的に取り組んでまいります」と話し、地域に根差したチームとして活動していくことを誓っていた。

越谷アルファーズは1997年に株式会社大塚商会のバスケットボール部として創部しました。その後JBL2、NBDLなどのリーグを経て、現在国内男子バスケットボールリーグ『B.LEAGUE』に所属しています。2018年には埼玉県越谷市とホームタウン提携を組み、越谷市初のプロクラブとなりました。2023-24SEASONに悲願のB1昇格を勝ち取り、2024-25SEASONからは国内トップリーグ『B1リーグ』の舞台で戦っています。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>